

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	送 付 委員会名
24年 第15号	24.6.25	<p>関西電力大飯発電所3・4号機の再稼働撤廃を求める国会への意見書提出を求める陳情</p> <p>平成23年3月11日に起こった東京電力福島第一発電所の事故は、終息したとは言えない。一年以上も経つのに、原因究明もなされてなく、放射能物質を環境に排出し続けている。原子力発電所は一旦大きな事故が起きると、一度に広範囲の地域が汚染され、時間の経過とともに、環境・生態系を通して内部の被曝が問題になってくる。また、家族・友人との断絶や、経済的な生活苦、放射能に脅かされる未来への不安など、目には見えない心の傷も問題である。</p> <p>若狭湾に建つ原子力発電所の過酷事故は、近畿の水瓶である琵琶湖を直撃する。事故防止の対策もさることながら、起きてからの対策は全くなされていないようである。大飯原発の再稼働は、「想定外」を想定した行為とは、とても思えない。</p> <p>電力が足りないかもしれないと言われている時間はほんの数時間である。原子力発電を使わない工夫は、5月15日の「第9回大阪府市エネルギー戦略会議」で関西電力が提案していたにも関わらず、国の強引な政治力で再稼働することになった。</p> <p>多くの国民・世界中の人たちが、地震国日本での再稼働に疑問を持っている。全原子力発電所が停止して初めての再稼働の危機にたつ大飯発電所を動かさないでもらいたい。</p> <p><b>【陳情事項】</b> 茨城県が、国会に対して、原子力発電所の事故という国民不安を解消するために「関西電力大飯発電所3・4号機の再稼働撤廃を求める意見書」を提出することを要望する。</p>	個人	防災環境 商工